

# 生涯学習だより

発行/町教育委員会社会教育課 ☎482-2948 (課直通)



- ・19時公民館発(バス移動)
- ・19時〜20時観覧会
- ・20時30分公民館着・解散
- ※悪天により星空が見えない場合は、映像を通して座学を行います。
- ▼申込締切日/5月22日(月)

**公民館講座参加者募集!**  
町公民館では公民館講座の参加者を募集します。

①「てしかがの星空楽しみ方講座(2回目)」  
4月に第1回目を開催し、今回はより身近な天体である惑星についての講座その①です。  
水星・金星・火星についての座学と、実際に摩周湖で観察を行います。2回目のみの参加もできますので、ぜひご参加ください!  
日時/5月31日(木) 18時〜20時30分終了予定  
場所/町公民館研修室(座学)・摩周湖第一展望台(観察会)  
講師/ペンションぼらりす 馬場一郎さん・馬場綾奈さん  
対象・定員/町民の方(中学生以下は保護者同伴)・15人  
持ち物など/筆記用具・暖かい服装でお越しください

- ▼参加料/無料
- ▼タイムスケジュール
- ・18時〜19時公民館研修室で座学 ※途中入室もできます。
- ・19時公民館発(バス移動)
- ・19時〜20時観覧会
- ・20時30分公民館着・解散
- ※悪天により星空が見えない場合は、映像を通して座学を行います。
- ▼申込締切日/5月22日(月)

②「公民館講座/川湯VC自然ふれあい行事硫黄山自然散策」  
硫黄山の麓にある安田鉱山鉄道跡を2キロほど歩きながら、自然散策を楽しみます。

日時/6月3日(土)8時30分公民館前集合(バスで送迎)〜12時30分公民館到着予定  
場所/川湯硫黄山周辺  
講師/川湯ビジターセンター職員  
対象・定員/15人  
※町民の方が優先です。中学生以下は保護者同伴となります。  
持ち物など/飲み物、雨具、帽子、上着 ※履き慣れた靴、動きやすい服装でお越しください。

- ▼参加料/無料
- ▼申込締切日/5月26日(金)
- ※小雨程度は決行しますが、雨天で中止とする場合は、当日の朝電話で連絡をします。
- ▼共催/屈斜路カルデラ自然ふれあい推進協議会
- どちら申し込み・お問い合わせ先/町公民館 ☎482-2340 まで。

「南(なつ)つせつ コンサートツアー」  
2023〜夜明けの風〜  
フォークシンガーである南(なつ)つせつさんのコンサートを鑑賞しませんか。  
日時/6月17日(土)  
町公民館前バス出発 14時45分、開場 16時30分、開演 17時  
場所/釧路市生涯学習センター  
チケット料金/全席指定7千円  
対象・定員/町民の方・17人  
▼申込締切日/6月3日(土)  
□申し込み・お問い合わせ先/町公民館 ☎482-2340 まで。

## 公民館ロビー展

町内在住の黒川勲さんによる写真展が、3月20日から4月14日まで町公民館1階ロビーで開催されました。フクロウやワシなど野鳥を撮影した15点の作品が展示され、訪れた人を楽しませてくれました。



**生きがい講座で学んでいます!**  
町民大学校生きがい講座の開講式が4月11日弟子屈学級(町公民館)、13日に川湯学級(川湯ふるさと館)でそれぞれ行われました。弟子屈学級は85人、川湯学級は34人が入級しました。入級した町民の方からは「新年度も楽しく参加し、皆勤賞を目指します」などの意気込みも聞かれました。



## 防災:昔の常識は今の非常識?

### 防災ワンポイントコーナー

「10年ひと昔」といいますが、SNSに代表されるデジタル社会は「日進月歩」も超越し「時々刻々」更新されているようです。防災についても、頻発する災害への対策・減災などの検証・検討が躍進し、「昔の常識=今の非常識」と言えるような事例が見られます。

例えば、「地震がきたら机の下に隠れる」は誤りとみられています。気象庁は「震度6強以上の揺れでは、耐震性のある建物でも壊れる可能性がある」と解説しているため、机の下にもぐって、揺れが収まるまで様子を見るのではなく、直ちに出入口に向かい、扉を開けて、いつでも脱出できる態勢をとることが正しい緊急行動の常識となっています。

地震発生時「まず火を止める」というのもよく聞く話ですが、これも「今の非常識」です。すなわち、プロパンガスも都市ガスも、通常、室外にガスメーター(マイコンメーター)が設置されており震度5強相当以上の揺れを感知した時は、ガスメーターが自動的にガスを遮断します。無理に火を止めようとして火傷を負うケースが多く、油使用時は特に危険です。ガスメーターが未設置の場合など瞬く間に燃え広がる可能性が高い状況は除きますが、多くの場合、地震の揺れは短時間でおさまるので「まず火を消す」ではなく「まず身の安全を確保する」が今の常識とされています。

これからも、自分と家族を守れるよう防災について勉強しましょう。

本誌3月号の「クロスワードパズル」の正解は「ボウサイ(防災)」でした。多数のご応募ありがとうございました。抽選の結果、10人に防災備蓄食糧をプレゼントしました。



問い合わせ先/役場総務課防災情報係 ☎482-2912 (課直通)

## 堆肥やスラリーの散布にご理解をお願いします

「家畜排せつ物は農家にとって貴重な有機肥料であり、牧草地や畑作に還元することで資源循環型の農業として環境負荷軽減にも役立っています。

町内の酪農家の皆さんは、家畜排せつ物を堆肥化する際に、水分調整など良好な発酵処理をすることで臭気の軽減に努めていますが、散布の際に強烈な臭気が発生することがあり、適切な処理をしても臭気を無くすることはできません。

このことから、弟子屈町や農協、酪農家など関係機関で組織する弟子屈町家畜ふん尿臭気・再生可能エネルギー対策協議会では、臭気抑制対策として様々な手法の検討や、専用機材の導入により散布方式を改善するなど、臭気の更なる軽減に取り組んでいます。

堆肥やスラリーの散布は5月、7月、11月頃に集中して行われ、観光シーズンとも重なりますが、農業にとって必要不可欠なことから、ご理解をお願いします。」



問い合わせ先/弟子屈町家畜ふん尿臭気・再生可能エネルギー対策協議会(事務局/役場農林課農政係) ☎482-2936